高等学校保健体育科における「内容のまとまりごとの評価規準(例)」

第1 体育

1 体育 目標と評価の観点及びその趣旨

	(1)	(2)	(3)
	運動の合理的, 計画的な実践を	生涯にわたって運動を豊かに	運動における競争や協働の経
	通して,運動の楽しさや喜びを	継続するための課題を発見し,	験を通して,公正に取り組む,
	深く味わい, 生涯にわたって運	合理的, 計画的な解決に向けて	互いに協力する, 自己の責任を
目	動を豊かに継続することがで	思考し判断するとともに, 自己	果たす、参画する、一人一人の
標	きるようにするため、運動の多	や仲間の考えたことを他者に	違いを大切にしようとするな
	様性や体力の必要性について	伝える力を養う。	どの意欲を育てるとともに, 健
	理解するとともに、それらの技		康・安全を確保して, 生涯にわ
	能を身に付けるようにする。		たって継続して運動に親しむ
			態度を養う。

(高等学校学習指導要領 P. 131)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的, 計画的な実践に	自己や仲間の課題を発見し、合	運動の楽しさや喜びを深く味
	関する具体的な事項や生涯に	理的, 計画的な解決に向けて,	わうことができるよう, 運動の
趣	わたって運動を豊かに継続す	課題に応じた運動の取り組み	合理的、計画的な実践に自主的
旨	るための理論について理解し	方や目的に応じた運動の組み	に取り組もうとしている。
	ているとともに,目的に応じた	合わせ方を工夫しているとと	
	技能を身に付けている。	もに、それらを他者に伝えてい	
		る。	

(改善等通知 別紙5 P.2)

2 内容のまとまりごとの評価規準(例) 入学年次

A 体つくり運動

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・自己や仲間の課題を発見し、合	・体つくり運動に自主的に取り
・運動を継続する意義、体の構	理的な解決に向けて運動の取り	組むとともに, 互いに助け合
造,運動の原則などについて	組み方を工夫するとともに、自	い教え合おうとすること, 一
理解している。	己や仲間の考えたことを他者に	人一人の違いに応じた動き
	伝えている。	などを大切にしようとする
※「体つくり運動」の体ほぐし		こと, 話合いに貢献しようと
の運動は、技能の習得・向上		することなどをしたり、健
をねらいとするものでないこ		康・安全を確保したりしてい
と, 実生活に生かす運動の計		る。

画は、運動の計画を立てることが主な目的となることから、「技能」の評価規準は設定 していない。

B 器械運動

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・技などの自己や仲間の課題を発	・器械運動に自主的に取り組む
・技の名称や行い方、運動観察	見し,合理的な解決に向けて運	とともに,よい演技を讃えよ
の方法、体力の高め方などに	動の取り組み方を工夫すると	うとすること, 互いに助け合
ついて理解している。	ともに,自己の考えたことを他	い教え合おうとすること,一
○技能	者に伝えている。	人一人の違いに応じた課題や
・マット運動では、回転系や巧		挑戦を大切にしようとするこ
技系の基本的な技を滑らかに		となどをしたり、健康・安全
安定して行うこと,条件を変		を確保したりしている。
えた技や発展技を行うこと及		
びそれらを構成し演技するこ		
とができる。		
・鉄棒運動では、支持系や懸垂		
系の基本的な技を滑らかに安		
定して行うこと,条件を変え		
た技や発展技を行うこと及び		
それらを構成し演技すること		
ができる。		
・平均台運動では、体操系やバ		
ランス系の基本的な技を滑ら		
かに安定して行うこと、条件		
を変えた技や発展技を行うこ		
と及びそれらを構成し演技す		
ることができる。		
・跳び箱運動では、切り返し系		
や回転系の基本的な技を滑ら		
かに安定して行うこと、条件		
を変えた技や発展技を行うこ		
とができる。		

C 陸上競技		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・動きなどの自己や仲間の課題を	・陸上競技に自主的に取り組む
・技術の名称や行い方、体力の	発見し、合理的な解決に向けて	とともに,勝敗などを冷静に
高め方,運動観察の方法など	運動の取り組み方を工夫する	受け止め、ルールやマナーを
について理解している。	とともに、自己の考えたことを	大切にしようとすること、自
○技能	他者に伝えている。	己の責任を果たそうとするこ
・短距離走・リレーでは、中間		と,一人一人の違いに応じた
走へのつなぎを滑らかにして		課題や挑戦を大切にしようと
速く走ることやバトンの受渡		することなどをしたり、健
しで次走者のスピードを十分		康・安全を確保したりしてい
高めることができる。		る。
・長距離走では、自己に適した		
ペースを維持して走ることが		
できる。		
・ハードル走では、スピードを		
維持した走りからハードルを		
低く越すことができる。		
・走り幅跳びでは、スピードに		
乗った助走から力強く踏み切		
って跳ぶことができる。		
・走り高跳びでは、リズミカル		
な助走から力強く踏み切り滑		
らかな空間動作で跳ぶことが		
できる。		
・三段跳びでは、短い助走から		
リズミカルに連続して跳ぶこ		
とができる。		
・砲丸投げでは、立ち投げなど		
から砲丸を突き出して投げる		
ことができる。		
・やり投げでは、短い助走から		
やりを前方にまっすぐ投げる		

D 水泳

ことができる。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・泳法などの自己や仲間の課題を	・水泳に自主的に取り組むとと

・技術の名称や行い方,体力の 高め方,運動観察の方法など について理解している。

○技能

- ・クロールでは、手と足の動き、 呼吸のバランスを保ち、安定 したペースで長く泳いだり速 く泳いだりすることができる。
- ・平泳ぎでは、手と足の動き、 呼吸のバランスを保ち、安定 したペースで長く泳いだり速 く泳いだりすることができる。
- ・背泳ぎでは、手と足の動き、 呼吸のバランスを保ち、安定 したペースで泳ぐことができ る。
- ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、 安定したペースで泳ぐことができる。
- 複数の泳法で泳ぐこと、又は リレーをすることができる。

・ネット型では,役割に応じた

発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り組み方を工夫する とともに、自己の考えたことを 他者に伝えている。 もに、勝敗などを冷静に受け 止め、ルールやマナーを大切 にしようとすること、自己の 責任を果たそうとすること、 一人一人の違いに応じた課題 や挑戦を大切にしようとする ことなどをしたり、水泳の事 故防止に関する心得を遵守す るなど健康・安全を確保した りしている。

E 球技

知識·技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 ・攻防などの自己やチームの課題 ・球技に自主的に取り組むとと ○知識 ・技術の名称や行い方、体力の を発見し、合理的な解決に向け もに、フェアなプレイを大切 高め方, 運動観察の方法など て運動の取り組み方を工夫す にしようとすること,作戦な について理解している。 るとともに, 自己や仲間の考え どについての話合いに貢献し たことを他者に伝えている。 ようとすること,一人一人の ○技能 ・ゴール型では、安定したボー 違いに応じたプレイなどを大 切にしようとすること、 互い ル操作と空間を作りだすなど の動きによってゴール前への に助け合い教え合おうとする 侵入などから攻防をすること ことなどをしたり、健康・安 全を確保したりしている。 ができる。

ボール操作や安定した用具の	D
操作と連携した動きによって	C
空いた場所をめぐる攻防をで)
ることができる。	

・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃,ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。

F 武道

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・攻防などの自己や仲間の課題を	・武道に自主的に取り組むとと
・伝統的な考え方、技の名称や	発見し、合理的な解決に向けて	もに、相手を尊重し、伝統的
見取り稽古の仕方、体力の高	運動の取り組み方を工夫する	な行動の仕方を大切にしよう
め方などについて理解してい	とともに、自己の考えたことを	とすること, 自己の責任を果
る。	他者に伝えている。	たそうとすること,一人一人
○技能		の違いに応じた課題や挑戦を
・柔道では、相手の動きの変化		大切にしようとすることなど
に応じた基本動作や基本とな		をしたり、健康・安全を確保
る技,連絡技を用いて,相手		したりしている。
を崩して投げたり、抑えたり		
するなどの攻防をすることが		
できる。		
・剣道では、相手の動きの変化		
に応じた基本動作や基本とな		
る技を用いて, 相手の構えを		
崩し、しかけたり応じたりす		
るなどの攻防をすることがで		
きる。		

G ダンス

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・表現などの自己や仲間の課題を	・ダンスに自主的に取り組むと
・ダンスの名称や用語、踊りの	発見し、合理的な解決に向けて	ともに, 互いに助け合い教え
特徴と表現の仕方,交流や発	運動の取り組み方を工夫する	合おうとすること, 作品や発
表の仕方,運動観察の方法,	とともに、自己や仲間の考えた	表などの話合いに貢献しよう
体力の高め方などについて理	ことを他者に伝えている。	とすること,一人一人の違い

に応じた表現や役割を大切に 解している。 しようとすることなどをした ○技能 ・創作ダンスでは,表したいテ り,健康・安全を確保したり ーマにふさわしいイメージを している。 捉え, 個や群で, 緩急強弱の ある動きや空間の使い方で変 化を付けて即興的に表現した り,簡単な作品にまとめたり して踊ることができる。 ・フォークダンスでは,日本の 民踊や外国の踊りから, それ らの踊り方の特徴を捉え,音 楽に合わせて特徴的なステッ プや動きと組み方で踊ること ができる。 ・現代的なリズムのダンスでは, リズムの特徴を捉え,変化と まとまりを付けて, リズムに

H 体育理論

る。

乗って全身で踊ることができ

(1) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・スポーツの文化的特性や現代の	・スポーツの文化的特性や現代
・スポーツの文化的特性や現代	スポーツの発展について、課題	のスポーツの発展についての
のスポーツの発展について理	を発見し、よりよい解決に向け	学習に自主的に取り組もうと
解している。	て思考し判断するとともに,他	している。
	者に伝えている。	
※体育理論については「技能」		
に係る評価の対象がないこと		
から,「技能」の評価規準は設		
定していない。		

3 内容のまとまりごとの評価規準(例) 入学年次の次の年次以降

A 体つくり運動

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・生涯にわたって運動を豊かに	・体つくり運動に主体的に取り
・体つくり運動の行い方、体力	継続するための自己や仲間の	組むとともに、互いに助け合
の構成要素,実生活への取り	課題を発見し, 合理的, 計画	い高め合おうとすること,一
入れ方などについて理解して	的な解決に向けて取り組み方	人一人の違いに応じた動きな
いる。	を工夫するとともに, 自己や	どを大切にしようとするこ
	仲間の考えたことを他者に伝	と、合意形成に貢献しようと
	えている。	することなどをしたり,健
※「体つくり運動」の体ほぐし		康・安全を確保したりしてい
の運動は、技能の習得・向上		る。
をねらいとするものでないこ		
と, 実生活に生かす運動の計		
画は、運動の計画を立てるこ		
とが主な目的となることか		
ら,「技能」の評価規準は設定		
していない。		

B 器械運動

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・生涯にわたって運動を豊かに継	・器械運動に主体的に取り組む
・技の名称や行い方、体力の高	続するための自己や仲間の課題	とともに, よい演技を讃えよ
め方,課題解決の方法,発表	を発見し、合理的、計画的な解	うとすること, 互いに助け合
の仕方などについて理解して	決に向けて取り組み方を工夫す	い高め合おうとすること,一
いる。	るとともに、自己や仲間の考え	人一人の違いに応じた課題や
○技能	たことを他者に伝えている。	挑戦を大切にしようとするこ
・マット運動では、回転系や巧		となどをしたり、健康・安全
技系の基本的な技を滑らかに		を確保したりしている。
安定して行うこと、条件を変		
えた技や発展技を行うこと及		
びそれらを構成し演技するこ		
とができる。		
・鉄棒運動では,支持系や懸垂		
系の基本的な技を滑らかに安		
定して行うこと、条件を変え		
た技や発展技を行うこと及び		
それらを構成し演技すること		

ができる。

- ・平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。
- ・跳び箱運動では、切り返し系 や回転系の基本的な技を滑ら かに安定して行うこと、条件 を変えた技や発展技を行うこ とができる。

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

C 陸上競技

○知識

・技術の名称や行い方,体力の高め 方,課題解決の方法,競技会の仕 方などについて理解している。

知識·技能

○技能

- ・短距離走・リレーでは、中間走の 高いスピードを維持して速く走 ることやバトンの受渡しで次走 者と前走者の距離を長くするこ とができる。
- ・長距離走では、ペースの変化に対 応して走ることができる。
- ・ハードル走では、スピードを維持 した走りからハードルを低くリ ズミカルに越すことができる。
- ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走と力強い踏み切りから着地までの動きを滑らかにして跳ぶことができる。
- ・走り高跳びでは、スピードのある リズミカルな助走から力強く踏 み切り、滑らかな空間動作で跳ぶ ことができる。

・生涯にわたって運動を豊か に継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、 計画的な解決に向けて取り 組み方を工夫するととも に、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。

- ・三段跳びでは、短い助走からリズ ミカルに連続して跳ぶことがで きる。
- ・砲丸投げでは、立ち投げなどから 砲丸を突き出して投げることが できる。
- やり投げでは、短い助走からやり を前方にまっすぐ投げることが できる。

D 水泳

思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

○知識

・技術の名称や行い方,体力の高め 方,課題解決の方法,競技会の仕 方などについて理解している。

知識•技能

○技能

- ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。
- ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸 のバランスを保ち、伸びのある動 作と安定したペースで長く泳い だり速く泳いだりすることがで きる。
- ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸 のバランスを保ち、安定したペー スで長く泳いだり速く泳いだり することができる。
- ・バタフライでは、手と足の動き、 呼吸のバランスを保ち、安定した ペースで長く泳いだり速く泳い だりすることができる。
- ・複数の泳法で長く泳ぐこと又はリ レーをすることができる。

・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

・水泳に主体的に取り組むととも に、勝敗などを冷静に受け止め、 ルールやマナーを大切にしよう とすること、役割を積極的に引 き受け自己の責任を果たそうと すること、一人一人の違いに応 じた課題や挑戦を大切にしよう とすることなどをしたり、水泳 の事故防止に関する心得を遵守 するなど健康・安全を確保した りしている。

て攻防をすることができる。

E 球技 知識·技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 ・球技に主体的に取り組むとと ○知識 ・生涯にわたって運動を豊かに継 ・技術などの名称や行い方,体 続するためのチームや自己の もに,フェアなプレイを大切 力の高め方,課題解決の方法, 課題を発見し, 合理的, 計画的 にしようとすること, 合意形 競技会の仕方などについて理 な解決に向けて取り組み方を 成に貢献しようとすること, 工夫するとともに, 自己やチー 一人一人の違いに応じたプレ 解している。 ムの考えたことを他者に伝え イなどを大切にしようとする ○技能 ・ゴール型では、状況に応じた ている。 こと, 互いに助け合い高め合 ボール操作と空間を埋めるな おうとすることなどをした どの動きによって空間への侵 り,健康・安全を確保したり 入などから攻防をすることが している。 できる。 ・ネット型では、状況に応じた ボール操作や安定した用具の 操作と連携した動きによって 空間を作り出すなどの攻防を することができる。 ・ベースボール型では、状況に 応じたバット操作と走塁での 攻撃, 安定したボール操作と 状況に応じた守備などによっ

F 武道		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・生涯にわたって運動を豊か	・武道に主体的に取り組むとと
・伝統的な考え方、技の名称や見取	に継続するための自己や仲	もに、相手を尊重し、礼法な
り稽古の仕方、体力の高め方、課	間の課題を発見し,合理的,	どの伝統的な行動の仕方を大
題解決の方法, 試合の仕方などに	計画的な解決に向けて取り	切にしようとすること、役割
ついて理解している。	組み方を工夫するととも	を積極的に引き受け自己の責
○技能	に、自己や仲間の考えたこ	任を果たそうとすること,一
・柔道では、相手の動きの変化に応	とを他者に伝えている。	人一人の違いに応じた課題や
じた基本動作から,得意技や連絡		挑戦を大切にしようとするこ
技・変化技を用いて,素早く相手		となどをしたり、健康・安全
を崩して投げたり、抑えたり、返		を確保したりしている。
したりするなどの攻防をするこ		
とができる。		

・剣道では、相手の動きの変化に応 じた基本動作から、得意技を用い て、相手の構えを崩し、素早くし かけたり応じたりするなどの攻 防をすることができる。

とまりを付けて仲間と対応し たりして踊ることができる。

G ダンス

思考・判断・表現 知識·技能 主体的に学習に取り組む態度 ・ダンスに主体的に取り組むとと ○知識 ・生涯にわたって運動を豊かに ・ ダンスの名称や用語, 文化的 継続するための自己や仲間の もに, 互いに共感し高め合おう 背景と表現の仕方,交流や発 課題を発見し, 合理的, 計画 とすること, 合意形成に貢献し ようとすること,一人一人の違 表の仕方、課題解決の方法、 的な解決に向けて取り組み方 体力の高め方などを理解して を工夫するとともに, 自己や いに応じた表現や役割を大切に 仲間の考えたことを他者に伝 しようとすることなどをした いる。 ○技能 り,健康・安全を確保したりし えている。 ・創作ダンスでは、表したいテ ている。 ーマにふさわしいイメージを 捉え, 個や群で, 対極の動き や空間の使い方で変化を付け て即興的に表現したり、イメ ージを強調した作品にまとめ たりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは、日本の 民踊や外国の踊りから, それ らの踊り方の特徴を強調し て, 音楽に合わせて多様なス テップや動きと組み方で仲間 と対応して踊ることができ る。 ・現代的なリズムのダンスでは, リズムの特徴を強調して全身 で自由に踊ったり,変化とま

H 体育理論

(1)運動やスポーツの効果的な学習の仕方

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	・運動やスポーツの効果的な学習	・運動やスポーツの効果的な学
・運動やスポーツの効果的な学	の仕方について、課題を発見	習の仕方についての学習に主
習の仕方について理解してい	し、よりよい解決に向けて思考	体的に取り組もうとしてい
る。	し判断するとともに、他者に伝	る。
	えている。	
※体育理論については「技能」		
に係る評価の対象がないこと		
から,「技能」の評価規準は設		
定していない。		

(2) 豊かなスポーツライフの設計の仕方

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識	豊かなスポーツライフの設計の	豊かなスポーツライフの設計
豊かなスポーツライフの設計	仕方について、課題を発見し、	の仕方についての学習に主体
の仕方について理解してい	よりよい解決に向けて思考し	的に取り組もうとしている。
る。	判断するとともに,他者に伝え	
	ている。	
※体育理論については「技能」		
に係る評価の対象がないこと		
から,「技能」の評価規準は設		
定していない。		

【現代社会と健康】

現代任芸と健康		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・国民の健康課題や健康の考え	・現代社会と健康について、課	・現代社会と健康についての学
方は, 国民の健康水準の向上	題を発見し、健康や安全に関	習に主体的に取り組もうとし
や疾病構造の変化に伴って変	する原則や概念に着目して解	ている。
わってきていること。また,	決の方法を思考し判断してい	
健康は、様々な要因の影響を	るとともに、それらを表現し	
受けながら, 主体と環境の相	ている。	
互作用の下に成り立っている		
こと。健康の保持増進には,		
ヘルスプロモーションの考え		
方を踏まえた個人の適切な意		
思決定や行動選択及び環境づ		
くりが関わることを理解して		
いる。		
・感染症の発生や流行には、時		
代や地域によって違いがみら		
れること。その予防には、個		
人の取組及び社会的な対策を		
行う必要があることを理解し		
ている。		
・健康の保持増進と生活習慣病		
などの予防と回復には,運動,		
食事,休養及び睡眠の調和の		
とれた生活の実践や疾病の早		
期発見,及び社会的な対策が		
必要であることを理解してい		
る。		
・喫煙と飲酒は、生活習慣病な		
どの要因になること。また,		
薬物乱用は、心身の健康や社		
会に深刻な影響を与えること		
から行ってはならないこと。		
それらの対策には、個人や社		
会環境への対策が必要である		
ことを理解している。		

・精神疾患の予防と回復には,
運動,食事,休養及び睡眠の
調和のとれた生活を実践する
とともに,心身の不調に気付
くことが重要であること。ま
た,疾病の早期発見及び社会
的な対策が必要であることを
理解している。

【安全な社会生活】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・安全な社会づくりには、環境	・安全な社会生活について、安	・安全な社会生活についての学
の整備とそれに応じた個人の	全に関する原則や概念に着目	習に主体的に取り組もうとし
取組が必要であること。また,	して危険の予測やその回避の	ている。
交通事故を防止するには,車	方法を考えているとともに,	
両の特性の理解,安全な運転	それらを表現している。	
や歩行など適切な行動、自他		
の生命を尊重する態度, 交通		
環境の整備が関わること。交		
通事故には補償をはじめとし		
た責任が生じることを理解し		
ている。		
・適切な応急手当は、傷害や疾		
病の悪化を軽減できること。		
応急手当には, 正しい手順や		
方法があること。また, 応急		
手当は, 傷害や疾病によって		
身体が時間の経過とともに損		
なわれていく場合があること		
から、速やかに行う必要があ		
ることを理解しているととも		
に,心肺蘇生法などの応急手		
当を適切に行う技能を身に付		
けている。		

【生涯を通じる健康】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生涯を通じる健康の保持増進	・生涯を通じる健康に関する情	・生涯を通じる健康についての
や回復には,生涯の各段階の	報から課題を発見し、健康に	学習に主体的に取り組もうと
健康課題に応じた自己の健康	関する原則や概念に着目して	している。
管理及び環境づくりが関わっ	解決の方法を思考し判断して	
ていることを理解している。	いるとともに,それらを表現	
・労働災害の防止には、労働環	している。	
境の変化に起因する傷害や職		
業病などを踏まえた適切な健		
康管理及び安全管理をする必		
要があることを理解してい		
る。		

【健康を支える環境づくり】

【健康を文える境境づくり】		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人間の生活や産業活動は、自	・健康を支える環境づくりに関	・健康を支える環境づくりにつ
然環境を汚染し健康に影響を	する情報から課題を発見し,	いての学習に主体的に取り組
及ぼすことがあること。それ	健康に関する原則や概念に着	もうとしている。
らを防ぐには、汚染の防止及	目して解決の方法を思考し判	
び改善の対策をとる必要があ	断しているとともに,それら	
ること。また、環境衛生活動	を表現している。	
は,学校や地域の環境を健康		
に適したものとするよう基準		
が設定され、それに基づき行		
われていることを理解してい		
る。		
・食品の安全性を確保すること		
は健康を保持増進する上で重		
要であること。また,食品衛		
生活動は、食品の安全性を確		
保するよう基準が設定され,		
それに基づき行われているこ		
とを理解している。		
・生涯を通じて健康を保持増進		
するには,保健・医療制度や		
地域の保健所,保健センター,		
医療機関などを適切に活用す		

ることが必要であること。また, 医薬品は, 有効性や安全性が審査されており, 販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には, 医薬品を正しく使用することが有効であることを理解している。

- ・我が国や世界では、健康課題 に対応して様々な保健活動や 社会的対策などが行われてい ることを理解している。
- ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であること。また、それらを実現するには、適切な健康情報の活用が有効であることを理解している。